

2017（平成29）年10大ニュース

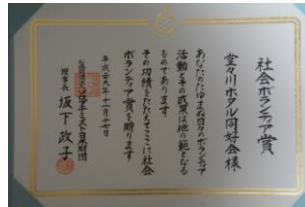
堂々川ホテル同好会 事務局作成

私たち同好会は「ホテルと花と砂留と」のコンセプトのもとに活動を行い、12年目が終わる。又10大ニュースの発行の始まりが平成21年だから今年で連続9年目になった。それだけの材料を皆様が作っていただいた事に感謝している。以下は今年度堂々川ホテル同好会の皆さんと一緒に活動を写真で見る10大ニュースにまとめてみた。

1. 全国ボランティア表彰、全国ボランティアフォーラムへ参加（会の名誉）

11月16、17日ソロプチミスト日本財団殿よりパシフィコ横浜国際ホールにて「社会ボランティア賞」をいただいた。（同ローズ福山殿の推薦により全国30数団体と共に）

11月18、19日はボランティア全国フォーラム2017の第4部会「トライ！“協働”による地域づくり」のパネラーとして参加した



2. 「全国砂留シンポジウム」が福井県南越前町で開催された（福山市のPR） （2016年福山で御領の古代ロマンを蘇らせる会が第1回を主催し、第2回目が今回） 堂々川の砂留とは外観や機能が違うように感じたが福山発が次へ繋がった

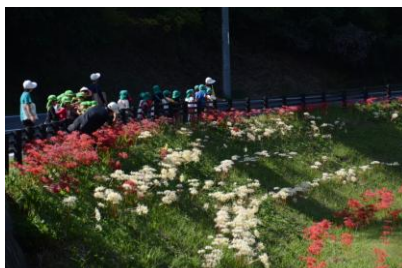


3. 彼岸花の開花18万本 花色17種（4、5、6月 9月 地域貢献）

中条小、御野小、こどもえんみどり保育園と共同作業の球根植栽（9980球）



えん児と球根の植栽



彼岸花の開花 9月29日



花色17種

4. 砂留の整備 (5月 12月 地域の安心安全を守る活動)

堂々川の砂留は国の有形登録文化財に2006年登録されている。でも整備はホタル同好会が自発的に定例会や外注に依頼して整備している。

10年前とは雲泥の差で綺麗がほぼ保たれている。ただ作業年齢が高齢化し、マンパワーが不足して作業は遅れている。



5. 中南米やアジアの公務員の JICA 研修の場になる 6年連続 (9月 11月 国際交流)

9月15日に中南米10カ国からJICA（ジャイカ）の研修メンバー12人、11月21日は15人が堂々川で環境や災害の研修と砂留を見学された。各国のボランティア活動災害状況等を相互発信し、国際交流をした。参加国は合わせて15カ国



堂々川公園内の東屋で相互状況発信



堂々川の6番砂留の基礎部で記念撮影

6. 小学生と水質調査 (8月 環境教育)

今年で11回目の水質調査を堂々川3番砂留川原と5番砂留の川原で行った。

近隣小学生の夏休みを利用した自由研究のお手伝いをしている。又堂々公園で夏に水遊びをする家族連れが安心して遊ばれるように確認をしている。福山市環境啓発課の出前教育を利用し実施。小学生が堂々川でゴミを拾ってくれる。参加者は約50人で過去最高。



7. 堂々川の四季が楽しめるように植樹の実施（4、5月、11、12月環境美化地域貢献）

堂々川の5番砂留東の山裾、下御領生産森林組合の了承を受け、ツツジ、モミジを各50本を植えた。数年先には春のつつじ、秋のモミジが綺麗な堂々川と有名になるように整備をしている。会イベントをしないが自然がイベント代わりをしてくれる



4月淀ヶ池の水鏡



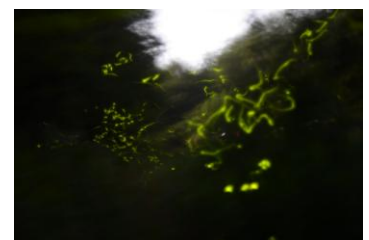
11月末 淀ヶ池紅葉

桜を植える⇒



8. 堂々川のホタル（5・6月 地域貢献）

堂々川のホタルは合計では前年度の約倍が飛翔、しかし竹田地区もホタルがたくさん飛び、マスコミの人気はそちらへ行くが堂々川はアクセスの良さと、川原ではヘイケボタルが人間に止まるので子供の人気は高い。堂々川のホタルが良く飛んだ場所は5番砂留川原、特に6番砂留の下流は多く舞った。堂々川飛翔最高値約1300匹の回復はビオトープを作って9年経過しているので古くなった。この改修と草刈りはマンパワー不足で遅れている。新会員募集しても参加は少ない。



9. 猪被害が想像以上に増えている（7月 8月 12月 自然保護）

今年の捕獲した数は7月、8月の2回で合計5頭。猪も学習して賢くなっており、檻に入らないので漁網を使う事を研究したが3か月過ぎると学習され効果がない



10. 江戸時代築造の砂留調査 砂留研究会を4月に立ち上げる（4月、12月 歴史探訪）
12月にメンバーと山に入り調査 下御領上、瀬名田、中組、西清水川、天王谷砂留等



写真 上左から 瀬名田砂留
上中 谷の名前不詳 微生物で赤い
上右 谷の名前不詳(新規再発見)
下左 3番砂留に水が作る穴が20個

以下番外 11. 堂々川付近の不法投棄物を処理（毎月 月3回平均 環境保全）

堂々川の新迫山橋付近を1年草刈りをしなかったら不法投棄の雑誌、DVD、弁当空箱が大量に出てきた。



12. 福山市史（原始から現代まで）に掲載

2001年から始まった福山市の歴史編さん事業が100周年を迎える今年3月完成した。今回の完成はその総括的なものである。この市史に堂々川（301頁）と古墳（37頁）が掲載されている。

13. 堂々川ホタル同好会の情報紙（PR）

12年続いて2017年12月で155号となる。広島県立図書館、神辺図書館に1号（2006年5月創刊）から保管されており地元神辺の資料として利用できる。



過去の受賞・行動の歴史

- 2006年1月 広島県ラブリバー団体認定
- 2007年3月 環境大臣賞受賞「ホタレンジャー」
- 2009年3月 ふくやま環境賞受賞
- 2009年5月 広島県景観会議 地域最優秀賞受賞
- 2011年6月 国土交通大臣表彰『砂防設備の美化』
- 2012年7月 小さな親切実行章受賞
- 2013年6月 ひろしま環境賞受賞
- 2013年11月 中国放送エコロジー大賞
- 2014年5月 国土交通大臣感謝状
『みどりの愛護功労者』
- 2015年6月 環境大臣「環境保全功労者賞」
- 2016年5月 福山ブランド活動部門登録
- 2016年10月 第1回全国砂留シンポジウム開催
- 2017年10月 第2回全国砂留シンポジウム福井で開催参加
- 2017年11月 ソロプチミスト全国ボランティア賞